

平和憲法の魂を失わせる安倍改憲STOP!

9条まもりぬこう

案



日本政策研究センター
小坂実研究部長

3000万署名スタート

市民団体が呼びかけ

「安倍政権を倒して憲法9条改悪をやめさせよう」。3000万人を目標にした憲法9条改悪に反対する全国統一署名が始まりました。市民団体(全国市民アクション実行委)が呼びかけたもの。

署名が求めているのは①憲法9条を変えないで下す②憲法の平和・人権・民主主義が生かされる政治を実現して下す——の2項目です。

9条2項は、今や国家国民の生存を妨げる障害物。…自衛隊を明記した第3項を加えて2項を空文化させるべきである。

●右翼団体の提案を丸のみ

「ねらいは「2項の空文化」だ。安倍首相と深い関係にあるウルトラ右翼集団「日本会議」系の人物(上参照)もハッキリ語っています。

9条2項「戦力不保持」を空文化

2020年までに9条を改憲する——5月3日、安倍首相が突然こう表明しました。

憲法9条は、1項「戦争放棄」の保障として、2項で「戦力の保持の禁止」を明記。「戦力」ではないから、「海外派兵」「集団的自衛権」「武力行使が目的の国連軍

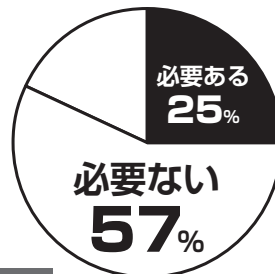
参加」はできない——歴代自民党政権は、国民にこう説明し続けてきました。

首相のいうように、1項、2項に加えて3項で、「自衛隊」と書いたらどうなるか。自衛隊が2項の制約にしばられず、役割を際限なく拡大する扉がひらかれます。

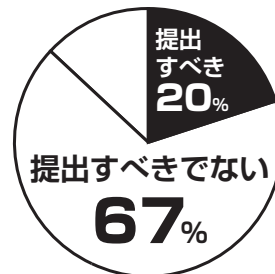
「自衛隊と書くだけ」? 海外での武力行使無制限に

改憲案を秋の臨時国会に

9条改憲



NHK 世論調査
(2017年4月29日)



「日経」8月28日付

自民 改憲案を臨時国会に提示へ

東京都議選での自民惨敗、内閣支持率の急落の中で、安倍首相は改憲について「スケジュールありきでない」とトーンダウンのポーズを見せました。しかし自民党の憲法改正推進本部は12日、全体会合を開き、党改憲案のとりまとめ

世論に挑戦

に向けた作業を本格化。「自衛隊を明記する条文のイメージを示さないと議論が進まない」として、9月下旬に召集予定の臨時国会に改憲案を提示しようとしています。「9条改憲必要ない」「改憲急ぐな」の世論に逆らうものです。

改憲をあとおし——公明・維新

●「1項、2項を残したまま自衛隊を明記する方法もある」(斉藤鉄夫公明党幹事長代行・NHK「日曜討論」5月14日放送)

●「(改憲の)先兵として戦っていく役割を担いたい」(維新・小沢党憲法改正推進委員会会長・5月6日「毎日」)